



# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



## 関わり合う場があるからこそ成長

副校長 山内江美

**今**月、10月2日(金)に学年別運動会(天沼オリンピック)を開催いたしました。コロナ禍ということもあり、「平日のみ・学年別時間制・児童1名につき保護者1名・完全入れ替え・校庭以外立ち入り禁止・入場券がないと入れない・来賓無し」など制限を設けての参観方法に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、受付のお手伝いをお願いしたPTA役員の皆様でさえ特別待遇は無し、といった塩対応にも関わらず、尽力いただけただこと本当に感謝申し上げます。



**皆**様から寄せられた感想用紙には、『このような状況下で、学年別運動会を開いていただいたことに感謝いたします。』『少人数・短時間でゆったり見られたので今後もこの形でよいと思う。』『誘導や受付の方々のサポートに改めて感謝いたします。』『上級生が小さい子をお世話したり、仕事をしたり、終わった後挨拶をしている姿を見て、我が子もあのようになってほしいと思いました。』『今までのようではなくとも、子どもたちの一生懸命さが伝わる演技で、胸が熱くなりました。』など、感動と労いの声をたくさんいただきました。



**一**方で、『せめて保護者2名にしてもらいたかった。』『人数を制限していても、本部側は密になってしまっていた。』『来年は、校庭も狭くなるのに大丈夫なのか。』『来られない人のために、オンラインでの配信はできないのでしょうか。』等々のご意見もいただいております。これらいただいた意見を参考に、天沼小学校ならではの来年度の運動会のあり方・時期・場所・参観方法などを検討していきたいと思っております。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**さ**て、毎年どの学年でも感じるのですが、前日のリハーサルに比べ、本番の方がよい演技になることが多いです。これはいったいどういうことでしょうか。また、子どもたちの練習に取り組む原動力は何なのでしょう。ちゃんとしないと先生や友達に怒られるから?できないところを見られて、馬鹿にされたくないから?できると楽しくて、もっとやりたくなるから?おうちの人に見てもらってすごいねって褒めてもらいたいから? はてさて、こればかりは本人に聞いてみないとわかりません。



**し**かし、運動会本番のあのえもいわれぬ緊張感、やり切った後のあの高揚感、真剣な演技に思わず心を打たれる瞬間、その当事者だけにしか味わえない感覚、これらを一度でも知ってしまったことが、理由の一つとして考えられます。そして、それらの体験に影響を与えているのが、観客の存在にあるのだとも考えます。他の学年を見て、「あんな風になりたいな。」「あんな風に自分もできるかな。」と、そう思うことが自身の成長を願う気持ちの高まりにつながります。また、見られる側は、歓声や応援の声にモチベーションがあがり、いつも以上に力が出せることにつながります。まさに、相乗効果が期待できる本番だと思えます。

**小**学校という一つの場の中で、お互いに刺激をもらい刺激を与えながら子どもたちは成長していくのだと、改めて感じた運動会でした。

### \*\* 今月の目標 \*\*

#### 生活

落ち着いた生活をしましょう

#### 保健

姿勢を正しくすごそう

#### 給食

感謝して食事をしましょう

# 11月の行事予定



## 学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまめまワンダラーズ)の活動を紹介します

### 6年生総合的な学習の時間

「わたしたちのあまめま  
～ようこそ先輩!～」

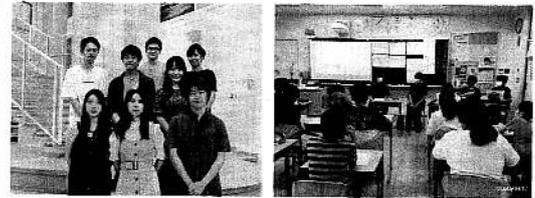
毎年6年生が取り組む学習。今年は卒業生たちと「天沼魂」を考える時間となりました。1期生4人、4期生1人、6期生3人とともに、今の天沼小がどんな学校なのかを話し合い、その後、先輩たちに天沼小での思い出を聞きながら、今と違うところ、同じところを共有しました。

スタートの段階では「きれいな学校」、「最先端の学校」などと「うわべ」ばかりの学校イメージが語られましたが、卒業生との関わりのなかで「思いやりがある」、「最後までやりきる」などの心の部分も盛り込まれた天沼魂が出ていました。

授業を通して先輩たちからは、「自分たちの時代よりしっかり考えている」、「天沼小の変わってない良さを感じた」等の感想も寄せられました。

これからも、卒業生たちが母校に帰り、素敵な思い出を話し合えるような学校でありたいと思いました。

文末ではありますが、1期生の中に天沼小のコミュニティマーク(流れ星のマーク)の考案者がいたのです。天沼小へ思いを感じた瞬間でした!



日	曜	行事予定
1	日	支援所運営勉強会(10:00)
2	月	こだま遠足 SC
3	火	文化の日
4	水	午前授業
5	木	安全指導
6	金	5年移動教室代替
7	土	土曜授業 全校朝会 薬物乱用防止教室6
8	日	
9	月	たてわり班活動 給食費引落
10	火	特時 SC 就学時健診
11	水	チャ読4 理科出前5(34h) 委員会(前後)
12	木	理科出前授業5(3/6h) HS
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	こだま見学会3h 自転車安全教室4 SC HJ
17	火	チャ読1こ 6年移動教室代替 フォ
18	水	午前授業 1年授業公開34h
19	木	
20	金	
21	土	土曜授業 全校朝会
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	チャ読2 クラブ活動
26	木	社会科見学4 HS
27	金	
28	土	ハピサタ(アリーナAM)
29	日	
30	月	避難訓練(二次避難) SC

SC: スクールカウンセラー来校日

## 毎年11月の第一土曜日は『東京都教育の日』



東京都教育委員会は、次代を担う子供たちの教育について、都民全体で推進し、都における教育の充実と発展を図るため、毎年11月の第一土曜日(令和2年度は11月7日)を「東京都教育の日」と定め、10月及び11月を「東京都教育の日」推進期間としています。  
[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/kyoiku\\_no\\_hi\\_2.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/kyoiku_no_hi_2.html)

## 11月の朝遊びカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

11月よりペットボトルキャッププロジェクトを再開します。

## 学校運営協議会コーナー

### 学校運営協議会のお仕事 「学校運営協議会って何?」

委員のお話をいただいた際、最初に思ったことでした。保護者一年目を終えた身には、初めて聞く名だったからです。ここをお読みの方も、校長先生のブログで目にしたことがある、という感じかもしれません。学校運営協議会では目標設定、学校評価等を通じ、多くの方々同様に天沼小の教育をより良いものにするべく活動しています。

保護者の方と接点を持つ活動例としては、冬休み

中にご協力をお願いする「学校評価アンケート」があります。これは皆様からいただいた意見を学校運営に反映させる絶好の機会なので、是非とも率直な意見をいただきたいです。

まだまだ駆出しではありますが、子どもたちが安心できる学校であり続けるよう、保護者・委員の両方の目線から学校運営に貢献できればと思います。

学校運営協議会委員 畝本 卓弥

## 1年 団体競技「折り返しリレー」 表現「カラフル」

新型コロナウイルス感染防止のため、入学してから初めての行事でした。ダンスを初めて見せたときに、どんなふうに踊りたいか聞くと、「可愛く元気に」や「可愛くかっこよく」などの声があがり、最初から目標をもって取り組むことができました。よく集中し楽しそうに取り組むので、振り付けもどんどん覚えていきました。見ていただいた可愛らしいなわとびの振り付けは、リズムをとるのが難しく、苦戦していた子も多かったのですが、休み時間にも一生懸命練習し、多くの子ができるようになりました。いつもと違う形ではありましたが、何か一つのことによって夢中になって取り組むことや、その成果を多くの人に見てもらえる経験ができて良かったです。ご家庭でのご支援ありがとうございました。

## 3年 短距離走「80m」 表現「四色炎舞」

爽やかな秋晴れのなか、五色の旗で華麗に舞うことができました。練習では、素早い動きやカウントの取り方に苦戦していました。しかし、本番では見事に全体が揃い、旗ならではの「バサッ！」という音が鳴り響いたときには、思わず鳥肌が立つほど、一体感のある演技となりました。

『電門炭治郎のうた』では、ゆっくりとした動きで旗をきれいになびかせることを意識し、「やさしさ」を表現しました。『紅蓮華』では、旗を振った後にピタッと止めることや、腕だけでなく全身で旗を振ることを意識し、「強さ」を表現することができました。

子どもたちは、休み時間や家で練習したり、友達と協力したりと、限られた時間の中でできることを探して行動しました。今回の経験を、今後の生活にも生かして行ってほしいです。

## 5年 短距離走「80m」 表現「天、走る！」

5年生の「表現」は、自分たちで作りあげることには挑戦しました。1学期の体育で学習した「表現運動」を生かし、「即興的表現」として、冒頭では「花火」、次は「スポーツ」をテーマに、グループごとに子どもたちが動きを考えました。タブレットで撮影した自分たちの「表現」を見ながら、メンバーで意見を出し合いました。リズムダンスの部分でも、子どもたちが創作した動き、クラスごとに考えた動きを取り入れ、まさに子どもたちが考えた「表現」となりました。グループで声をかけ合い、休み時間に教え合う姿が見られるなど、学年目標である「〇〇合う」が随所に見られる取組となりました。この成果を普段の姿に生かせるかが問われます。5年生も後半戦。最高学年に向けて、自分たちで考えて行動できる姿を期待しています。

# 天沼オリンピック

## 2年 団体競技「折り返しリレー」表現「CuteDance2020」

2年生の折り返しリレーでは、1学期の体育の学習で学んだことを生かし、三角コーンの回り方を工夫しながら全力で走ることができました。表現では、1年生の時よりも成長した姿を見せられるよう、児童一人一人が練習に励んできました。本番は、時には真剣な表情でかっこよく、時には笑顔いっぱい、キュートに。動きと表情で会場にいる人たちを魅了できたのではないかと思います。

例年とは異なる形での開催ではありましたが、子どもたちが笑顔で終わられたことを何より嬉しく思います。近くで見守り、支えてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 4年 短距離走「80m」 表現「天小ソーラン」

4年生は伝統のソーラン節に取り組みました。受け継がれてきた法被とはちまき、リストバンドを身にまとい、子どもたちは練習からとても意欲的でした。

今回の表現では、1人1人の表現だけでなく、クラスごとの創作表現、学年全員でつくり上げる表現にも挑戦しました。実行委員を中心に毎回の練習でめあてをたて、どのようにすれば動きがよくなるかを話し合い、教え合いました。練習の後には、学習カードに自分が気付いたことを書き、個人でもどうすれば動きが高まるかを考えました。本番は皆が一体となって素晴らしい演技ができ、子どもたちは達成感を感じていました。

5・6年生の演技を見学し、高学年への憧れも感じていました。高学年まで残り半年。一日一日を大切にしながら生活していきます。

## 6年 短距離走「80m」 表現「天沼伝★極」

今年は新型コロナウイルス感染防止のために、昨年度まで行っていた「天沼伝」ができないことになりました。しかし、子どもたちは天沼伝を継承したい、先輩から受け継いできたことを5年生に伝えたいという気持ちをもっていました。そして取り組んだ「天沼伝★極」は、組体操の一人技と棒を使った演技を取り入れました。数多くの技があり覚えるのに苦労しましたが、友達と教え合い、励まし合いながら一生懸命に練習しました。本番で大成功を収め、力を出し切った子どもたちはとても輝いていました。天沼伝はまだまだ続きます。卒業までの残り6か月で最高学年としての自覚をもち、天沼小のために活躍してくれると思います。支えてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

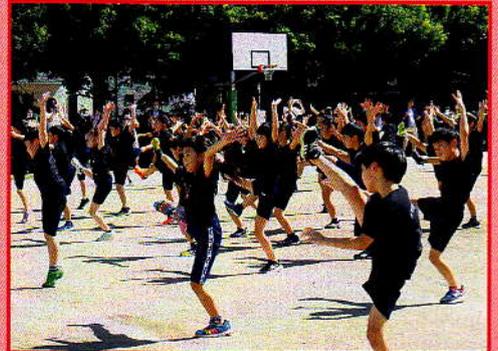


カラフル

1  
ねん



CuteDance2020



2  
ねん



四色炎舞

3  
ねん



天小ソーラン

4  
ねん



天、走る！



5  
ねん



天沼伝★極

6  
ねん

史上初後悔ゼロでやりきろう！！